

## プログレシフ ブミ シャラワット高校の生徒との交流

2月5日（月）・6日（火）の2日間、インドネシアにあるプログレシフ ブミ シャラワット高校から生徒 26 人と先生 4 人が本校を訪問しました。

- ・「日本の高校生の生活を体験したい」ということで、高松駅から鬼無駅まで電車に乗り、鬼無駅から本校まで徒歩で通学しました。初日は冷たい雨に降られましたが、インドネシアの高校生は日本の家屋や盆栽・オリーブなどの植物に興味深く観察していました。



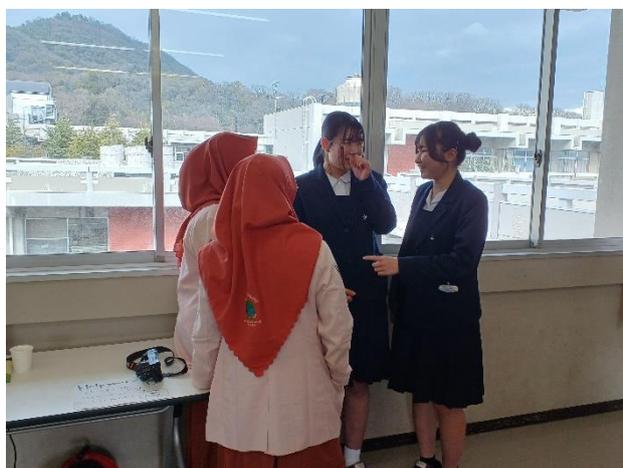
- ・初日の歓迎会では、インドネシアの高校から記念の楯をいただき、本校からは書道部が漢字を書いた扇子をプレゼントしました。また、インドネシアの高校生が、自分たちの学校やインドネシアの各都市について英語で説明してくれたり、息の合ったダンスと心のこもった歌声を披露してくれたりしました。そして、本校生も英語で本校の紹介を行いました。



・インドネシアの高校生は、バディを務める本校生と一緒に授業に参加しました。例えば、地理総合の授業では、災害に対する家庭での備えについて話し合いました。家庭科の調理実習ではしっぽうどんを一緒につくりました。



・二日間という短い期間でしたが、黒板に英語や日本語でメッセージを書きあったり、一緒にお弁当を食べたりして、親交を深めました。



・最終日の放課後には、教頭先生からプレゼントしてもらったカイロを携えて、栗林公園を散策しました。

